

第3部会

対応案
1. 素案修正 2. 素案どおり 3. その他

項目	No.	2回 or 3回	委員発言内容	対応案	修正案等	ページ
潮流	1	3	「かつてない大都市・新潟」に違和感を感じる。「かつてない」は今までとは異なるイメージであるが、長い歴史の中で合併市町村の思いをひきつぎながら新しい新潟市ということであり、継続のなかで新しく生まれる「創生」のイメージではないのか。	2	新潟市は合併により自然・田園と高次都市機能を併せ持つ都市となり、これは他の政令市にはないという意味で「かつてない」と表現した。	5
	2	3	「持続的な発展を目指す必要があります」の記載は不要ではないか。	1	発言のとおり修正する。	5
	3	2	分権型が都市内分権であることがわかりにくい。	1	【潮流2「自立と協働の時代へ」】で、都市内分権の記述を追加する。	6
	4	2	市民参加やNPOについて、もっと踏み込んだ記載をしたほうがよいのではないか。	1	【潮流2「自立と協働の時代へ」】で、NPOの役割や実績についての記述を追加する。	6
	5	2	生産力の低下や経済の低成長化など、グラフを入れるなど、わかりやすくしたほうがよい。	2	データについては、施策別プランで記述する予定。	6
	6	2	少子化・高齢化が、一般論だけでなく新潟市に落とした場合どうなるのか、市内でも地域によって傾向は異なるのではないか。政策につながるような記載を。数値を入れてもよい。	1	【潮流3「人口減少・少子高齢化」】で、新潟の特徴として、全国平均を下回る出生率などについての記述を追加する。	7
	7	3	潮流の「3.人口減少、少子高齢化」に、男女共同参画の視点が含まれているとは思いますが、男女共同参画は見出しにあったほうがよいと思う。	1	項目のタイトルを「3.人口減少、少子高齢化」を「3.少子高齢化の進行と男女共同参画の重要性の高まり」と修正する。 また、男女共同参画の取組みの記載を以下の下線部のとおり追加する。 「（略）それと同時に、高齢者や（中略）ることの重要性が高まっています。また、男女が家庭生活と社会生活を両立できる社会を、市民・企業・行政が力を合わせて実現することも大切な要素となっています。本市においても、（略）」	7
	8	3	男女共同参画を進めるには企業や行政の支援が必要であり、そうした視点を入れることにより、新しい新潟市の姿勢が打ち出せるのではないか。	1	【3.少子高齢化の進行と男女共同参画の重要性の高まり】で、男女共同参画の取組みの記載を以下の下線部のとおり追加する。 「（略）それと同時に、高齢者や（中略）ることの重要性が高まっています。また、男女が家庭生活と社会生活を両立できる社会を、市民・企業・行政が力を合わせて実現することも大切な要素となっています。本市においても、（略）」	7
	9	3	潮流の「3.人口減少、少子高齢化」のタイトルで、人口減少と少子高齢化は潮流ではあるが、この潮流をもとに新潟市としてこうしたいという意味の表れたタイトルにするべきではないか。	1	項目のタイトルを「3.人口減少、少子高齢化」から「3.少子高齢化の進行と男女共同参画の重要性の高まり」と修正する。	7
	10	3	人口減少・少子高齢化の新潟市の傾向の修正があったが、この傾向は全国でも同じものであり、新潟市の数年間の傾向や合併後の状況などもう一步踏み込んでほしい。	2	基本計画総論の【将来人口の想定】の中で、新潟市の人口関連データの詳細を掲載する予定。	7
	11	3	高齢化は、現在すでにその状態になっている。少子高齢化は成熟した社会で現れるものであり、「成熟社会としての新潟市」といった文言があるとよいのではないか。	1	【3.少子高齢化の進行と男女共同参画社会の構築】で、以下の下線部のとおり追加する。 「我が国では、社会の成熟に伴う出生率の低下」	7
	12	3	少子高齢化はマイナスなイメージ。「長寿社会」や「お年寄りがいきいき暮らす成熟社会」などにしたほうがよいのではないか。	1	潮流（現況）においては「少子高齢化」を用い、今後の方向性においては「長寿社会」を用いることとし、【3.少子高齢化の進行と男女共同参画の重要性の高まり】での記載を以下の下線部のとおり修正する。 「（略）本市においても、（中略）人口減少が見込まれており、子育て環境の向上や産業人材の育成、豊かな長寿社会の構築など、様々な分野での（略）」	7
	13	3	合併した市町村の家族構成は3世代の世帯が多いときいている。このようなことは、これからのまちづくりを考えるとときに影響があるのではないか。	2	データを整理し、施策別プランで議論したい。	7
	14	3	「5.自分らしく豊かな生活を送れる社会へ」で、「送れる」ではなく「送ることのできる」「送られる」ではないか。	1	「送られる」に修正する	8

項目	No.	2回 or 3回	委員発言内容	対応案	修正案等	ページ
	15	3	「5.自分らしく豊かな生活を送れる社会へ」で、「豊かな生活」ではなく「豊かな人生」ではないか。	1	「豊かな生活」を「豊かな人生」に修正する。	8
基本 構想	16	2	「高次都市機能」はわかりにくい。	2	高次都市機能についての説明は用語集で対応する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">『高次都市機能とは』 都市が持つ様々な機能のうち、高付加価値商業機能、中枢管理機能、国際業務機能、研究開発機能など、その都市の個性を表し、また、その都市だけでなく広域的に効果を波及できるような機能。</div>	11
	17	2	まちのかたちの概念図はわかりにくい。	1	わかりやすく修正する。	13
	18	2	まちのかたちの概念図で、白い丸が4つであるが、区の数8つにしたほうがわかりやすいのではないか。	1	同上	13
	19	2	「生活圏域」とあるが、買い物は都心部に来るなど、普段の生活で実感が無いのではないか。交通をよくすればなおのことその傾向が強まる。	1	生活圏域の定義とあわせ、図をわかりやすく修正する。	13
	20	2	生活圏域 = コミュニティというのは無理がある。	1	同上	13
	21	2	都市像 と は、図では分散しているが、意味合いは近いのではないか。	2	都市像 は、他の都市像 ~ にかかる仕組みづくりの位置づけであるので、都市像 をはじめとして、各施策と関連する部分が多い。したがって、施策の再掲で対応している。	14
	22	2	都市像 の施策の順番は、安全 安心 健やか 快適の順番でもよいのではないか。	2	身体・生命に関する基本的な部分から順に構成している。	14
	23	2	市民アンケートでも高齢者対策を望む声が最も多い。P14に高齢者対策を明確に打ち出すべきではないか。	2	P14の都市像の図は、大きな分野をくくった構成であり、高齢者に関する記述は、P19都市像 の説明文の中で記述している。	14 19
	24	3	まちづくりの理念に「開港」とあるが、開港に関する施策がない。これから開港するようなイメージもあり、「開港」は削除したほうがよいのではないか。	2	「開港」はキャッチコピーの意味もある。伝統的なみなとまちで、元祖交流のまちというブランドを持った都市であるということと記載している。わかりにくく、ロゴとしても長いことから、表現については検討をしたい。	14
	25	2	「地域」とは何をさすのか、わからない。	2	地域を以下に定義する。 ○コミュニティ - 小・中学校区単位 ○地区（仮置） - 基本的に旧市町村・地区事務所単位 ○区 - 区単位 ○地域 - 上3つの総称	15
	26	2	「地域」は一義的には区を指すとのことであるが、コミュニティのように感じる。	2	同上	15
	27	2	図で、トライアングルが7つあるが、意味がわからない。	1	わかりやすく工夫する。	15
	28	3	P15の図で、「NPO等」には、NPO、自治会、区自治協議会が含まれると思うが、他都市はコミュニティ施策を自治会を無視して進め失敗した例もあり、NPOが最初ではなく、まず自治会があるのではないか。自治会・区自治協議会・NPOがそれぞれ分担して役割を果たすのだと思うが、もっと細かい用語の整理が必要ではないか。	1	【 協働のまちづくり】で、以下の下線部のとおり追加する、 「（略）市民やコミュニティ協議会、NPOなどの団体と（略）」 また、自治会・区自治協議会・NPOの役割分担については、今後図でわかりやすく示したい。	15
	29	3	愛知県やさいたま市では、NPOと行政の協働のルールブックを作成している自治体もある。	2	施策別プランで検討する際の参考とする。	15
	30	3	「地域」の定義であるが、やはり地域は地元を指すように感じる。ほかにより用語がないか。	2	ほかに適切な表現がないことから、「地域」を用いることとする。用語の定義について注釈を用いるなど、わかりやすく編集したい。	15
	31	2	「優れたまちの形づくり」と「きれいな環境づくり」はばやけた表現であり、もう少し変えてほしい。	1	「田園と調和したまちづくり」 「環境重視のまちづくり」に修正する。	16
	32	3	「環境重視のまちづくり」で、「また環境問題にも力を注ぎ」の「また」と「にも」は不要。新潟市は巻原発をNOと言ったところであり、新エネルギーを推進するということを基本構想の中で姿勢を明確にするべきではないか。	1	「また」及び「にも」を削除し、文中に「新エネルギーの推進」を追加する。	16
	33	2	「環日本海諸国」で、日本海という表現は好ましくないのではないか。	3	本市では、「環日本海」を使用している。	17

項目	No.	2回 or 3回	委員発言内容	対応案	修正案等	ページ
	34	2	今後の超高齢社会に対応した、自動車や道路の整備ではなく、高齢者が動きやすい公共交通が必要。莫大な費用がかかるものであり、8年間で実現できないかもしれないが、部分的でも取り組んで欲しい。	1	P18【賑わいの基盤づくり】の説明に、公共交通体系の整備の記述を加える。	18
	35	2	「上質なくらし」の上質をもっとまろやかな表現に。	1	「質の高いくらしづくりを目指します。」に修正する。	19
	36	2	「快適なくらし」は、記載がぼんやりしており、イメージがわからない。もっと具体的に記載したほうがよい。	1	具体的な例示を説明文に加える。	19
	37	2	「快適なくらし」で、地域の歴史・文化を入れてはどうか。生活圏で感じる普段の感覚、時間的に蓄積されているようなものの記載を。	2	P12【まちづくりの理念】の説明に、歴史、文化は本市の優れた財産として記述している。また、P33においても、【個性あるまちなかを活性化する】のなかで、個性ある歴史文化について記述している。	19
	38	3	「不規則な食生活や生活習慣病が増えていることから」としてはどうか。	1	発言のとおり修正する。	19
	39	3	「不規則」というより「不適切」「アンバランス」な食生活ではないか。	2	「不規則」は一般的に用いられている用語であり、また、「不規則」は時間的な不規則のほか、食事バランスの不規則も含まれていると考えている。	19
	40	3	健やかな生活で、健康の概念が「ヘルス」から「ウェルネス」に変化してきており、障害や年齢に関係なく、自分が主体で行政が支援するという形に変わってきている。行政はあくまでサポートするものであり、行政が責任を持つような表現は好ましくない。	1	【「健やかなくらしづくり」】で、以下の下線部のとおり修正する。 「(略)生活習慣病が増えていることから、 <u>市民自らが進める健康づくりへの支援や、子どもの頃からの健全な食生活の実践</u> 、(略)」	19
	41	3	「健康づくり日本一のまちを目指す」とあるが、本当に目指すのか。指標を出していくのも難しいと思うが。	3	指標を示したいと考えている。施策別プランに示していきたい。	19
	42	3	「健やかなくらしづくり」では、「高齢化」ではなく「長寿社会が進み」とするなど、その場にあわせた表現としたほうがよいのではないか。	1	「健やかなくらしづくり」で、以下の下線部のとおり修正する。 「平均寿命が延び長寿社会が進む一方で (略)」	19
	43	3	「充実した高齢期を迎える」というような表現にしてもよいのではないか。	1	同上	19
	44	3	「少子高齢化」と、少子化と高齢化がくっついているが、セットにして使ってよいのか。	2	一般的に使用されている用語であり、また、安心なくらしづくりにおいては少子化と高齢化の両方が記載されているため、このままでよいと考える。	19
	45	3	「少子化」という表現は、子どもを産みなさいと強制されているように感じる場合もある。産みたくても産めない人もおり、産まない母親が悪いという感じにならないような表現にしてほしい。同様に、結婚する・しないもひとつの選択であり、結婚しないことがマイナスのような表現にしないでほしい。	2	一般的に使用されている用語であり、また、ほかに言い換える表現がないことから、このままとしたい。	19
	46	3	少子高齢化で、子どもを産むことは高齢者を支えるためではなく、子どもが子どもらしく健やかに育つことが重要なのであり、表現に気をつけてほしい。	2	発言のように受け取られないよう、表現に気をつけたい。各委員がお気づきの箇所があればご指摘いただきたい。	19
	47	3	「高齢者福祉」は高齢者を助けるイメージであるが、パワーのある元気な老人がバリバリ活躍する、といった感じの表現がよいのではないか。	2	総体として「福祉」を表現しており、このままとしたい。	19
	48	3	「福祉」という表現を使わないと、福祉を軽視した印象もあり、難しい。	2	同上	19
	49	2	「ライフステージを豊かに」ではなく、「ライフステージにふさわしい・・・」となるのではないか。	1	「ライフステージにふさわしい豊かさをもたらすだけでなく、」に修正する。	20
	50	2	都市像の施策で、興味をもった施策の詳細が見られるように、対応する施策別プランのページ記載してはどうか。	2	後ほど、編集の中で工夫したい。	-
基本 計画 総論	51	3	今までの総合計画の変遷がわかるものを枠組みの中などにいれるとよいのではないか。	3	合併後の総合計画であり、新しい枠組みで策定するものであるため、含めないほうがよいと思うが、今後検討したい。	23
	52	2	人口の想定で、単純推計人口の想定でもよいのではないか。	2	生産人口、税収、効率的な都市経営の観点より、人口の増加は必要と考える。	27
	53	2	人口の観点からも、子どもを産み・育てやすく、女性が働きやすい環境づくりが必要。	1	子育て支援に関しての記述を追加する。	27

項目	No.	2回 or 3回	委員発言内容	対応案	修正案等	ページ
	54	3	人口想定で、「子育て支援の推進」を追加したが、「子どもを産み・育てやすく、女性が働きやすい環境づくり」の視点が重要。行政側の視点で書かれているが、市民にはわかりにくいので、この表現を活かした形で記載してほしい。	1	「子育て支援の推進」を「子育てしやすい環境の整備」に修正する。詳細は各論で記載する。	27
	55	2	土地利用方針の8つの基本方針と5つの都市像との関連がわからない。都市像にあったほうがわかりやすいのではないか。	2	後ほど、編集の中で工夫したい。 (資料については、後日配布する。)	33
	56	2	P14の5つの都市像が8つの土地利用の基本方針と結びつくような工夫をしてほしい。	2	同上	33
	57	2	市域が広がっているのに、「コンパクトなまち」はわかりにくい。	2	P13【目指すまちのかたち】の説明文の中で、「コンパクトのまちづくり」の考えを記述している。また、P34で生活圏の充実についてより詳しく説明している。さらに、編集の際に用語集などで工夫する。 (配布資料あり)	33
	58	3	「コンパクトなまちづくり」は、ほかになにかよい言葉がないか、再度検討してもらえないか。	2	脚注をつけるなど、わかりやすく説明し理解していただいた上でこの表現を使っていきたい。これを機会に「コンパクトなまちづくり」が市民の方へ浸透していけばよいと思う。	33
	59	3	都市機能を交通と国際交流に分けるとわかりやすいのではないか。	1	【日本海側の拠点としての都市機能を強化する】で、以下のとおり修正する。 「 <u>道路・鉄道・空港・港湾などの交通機能をはじめ、国際交流・文化・流通・商業業務・観光など様々な都市機能の一層の強化に努めるとともに、(略)</u> 」	33
	60	2	P34で、「自転車・歩行者にも配慮した」で、「にも」を「に」にしてほしい。新潟は平坦なところが多く、自転車の利用者も多いことから、自転車道の整備をきっちりしてほしい。	1	【交通ネットワークを整備する】の記述内容を修正する。	34
	61	2	新潟は車優先が当たり前になっており、横断歩道で停車しないことや高スピードな運転など、歩行者が危険な目にあうことも多い。	1	同上	34
	62	2	新潟交通の電鉄跡地を自転車道に整備すれば、安全な自転車道になる。	2	現時点では、計画に位置づけるのが難しいと考えるが、各論又は実施の段階で議論したい。	34
	63	2	「農業の多面的な機能」は直売所などを指すのではなく、防災や景観などを指すのではないか。	1	P35の文案を別紙修正版のとおり修正する。	35
	64	2	現在の農業は生産性が低く、生産性を高めることは大きな課題であり、農業基盤の整備は景観より上位にいくのではないか。	1	P35の文案を別紙修正版のとおり修正する。	35
	65	2	この図だけを見てもよくわからない。	1	わかりやすく工夫する。	36
	66	3	食と花のにいがたの魅力を高めるには、農村集落の環境整備が必要で、それは農業者だけでなく都市部の人も含め多くの人によって基盤を守っていき、地域を共に形成していく必要がある。そうしたベースになる施策を取り組むと明示したほうがよいのではないか。	1	【大農業都市として食と花のにいがたの魅力を高める】で、以下の下線部のとおり修正する。 「(略)また、農産物直売所・農家レストラン、農家民宿などの整備促進などを通じた、都市型グリーン・ツーリズムの提供や、都市住民も参画した農村環境の整備など、都市部との交流を(略)」	35
	67	2	7区の記載がないことについて、住民にとって自分の区が文章に入っていないことはよくない。うまく文章化してほしい。	3	検討に時間をいただきたい。	37
	68	3	「都心」の記載について、記載のとおりであるが、実現できるのか。万代周辺はまちなかの過疎といわれ商店街を形成できないような状況であり、ここを都心と位置づけるには、相当な計画が必要になる。P45の政策との整合性など、よく検討・精査すべき。	2	東大通に近接した区域は都心と位置づけており、特に活性化を図っていきたい。	37
	69	2	P38の図で、旧市町の区は地域拠点と生活拠点があるのに、7区は人口も多く区役所もあるのに生活拠点で描かれており、アンバランスな感じを受ける。(地域拠点は区の交流拠点で、生活拠点は生活レベルのサービスを提供する拠点で、地域拠点のほうがより広域的なサービスを提供する)	3	検討に時間をいただきたい。	38
その他	70	3	目線として若者は落としやすい。「大切にされる若者」の視点があるとよい。	1	P15【協働のまちづくり】で、以下の下線部のとおり追加する。 「(略)多彩な能力を持った、若者をはじめとする幅広い年代の市民が(略)」	15
	71	3	「少子高齢化」が、P17の人が集うまちづくり、P19の健やかなくらしづくりと安心なくらしづくり、P20の人を育てる環境づくりにあり、少しくどいように思う。	1	P20の「少子高齢化」記載を削除し、あわせて、「国際化や情報化が進み、一人ひとりの価値観が多様化する中、」と本文を変更する。	20

項目	No.	2回 or 3回	委員発言内容	対応案	修正案等	ページ
	72	3	用語の説明は巻末の用語集ではなく、同じページの下部にあるとよい。	3	編集の際に検討する。	-
	73	3	総合計画の冒頭にプロローグのようなものを置き、これからの新潟市の志と自治の歴史を踏まえて歩みだす自助・互助のまちづくりを詩的に書くといよいのではないか。	2	市長あいさつで対応する。	-
	74	3	「明日の新潟を切り拓く」といった勢いのある前向きな言葉を使ったほうがよい。	2	市長あいさつで発言のように記載したい。	-
各論	75	3	課題と施策の記載が対応していない箇所がある。	3	課題は大きな視点で記載しており、細項目の施策と一致しない場合がある。編集を工夫したい。	-
	76	3	施策のタイトルだけでは取組みがわからないものがある。	3	事務局においても再度確認するが、各委員がお気づきの箇所があればご指摘いただきたい。	-
	77	3	構成を、体系 現況 課題 施策展開 としたほうがよいのではないか	3	現況と課題は一体で記載したほうがよいと考える。また、現況・課題を踏まえ体系を作成している。よって、このままとしたい。	-
	78	3	具体的に、何をいつまでにやる、という記載がない。	3	指標については、今後可能なものは示していきたい。	-
	79	3	今まで取り組んできたことは記載できるのか。継続なのか新規なのか、わからない。	3	施策としては基本的に継続のものが多い。実施計画において事業の新規・継続を示していきたい。	-
	80	3	子育て支援の充実で、13の施策があるが、若者の視点がない。また、教育保障は子育て支援の要望のトップにくるものであり、入れていただきたい。再就職支援も入れてほしい。	-	第4・5回会議において、担当部長より説明したい。	-
	81	3	子育て支援の充実で、企業への働きかけをひとつ起こしてほしい。	-	第4・5回会議において、担当部長より説明したい。	-
	82	3	新潟で里帰り出産を希望しているができない人の話を聞く。現況基礎データの146ページに医師・病床数があるが、これを専門別に出せないか。	-	第4・5回会議において、担当部長より説明したい。	-
83	3	子どもの虐待防止は記載があるが、DVやストーカーなどあらゆる暴力の根絶のサポートについての記載が必要。	-	第4・5回会議において、担当部長より説明したい。	-	